

装備の知識について

● アウター・リヤ・ビュー・ミラー

● エンジン・フード

● ヘッドランプ



● ドア・アウトサイド・ハンドル

● サイド・ターン・シグナル・ランプ,
ハザード・ウォーニング・ランプ

● フロント・ターン・シグナル・ランプ,
ハザード・ウォーニング・ランプ

● クリアランス・ランプ
フロント・パーキング・ランプ

● ライセンス・プレート・ランプ



● バック・ドア

● ターン・シグナル・ランプ
ハザード・ウォーニング・ランプ

● テール&パーキング&ストップ・ランプ

● 反射器

● バック・アップ・ランプ

コロナ マークII パン GL車

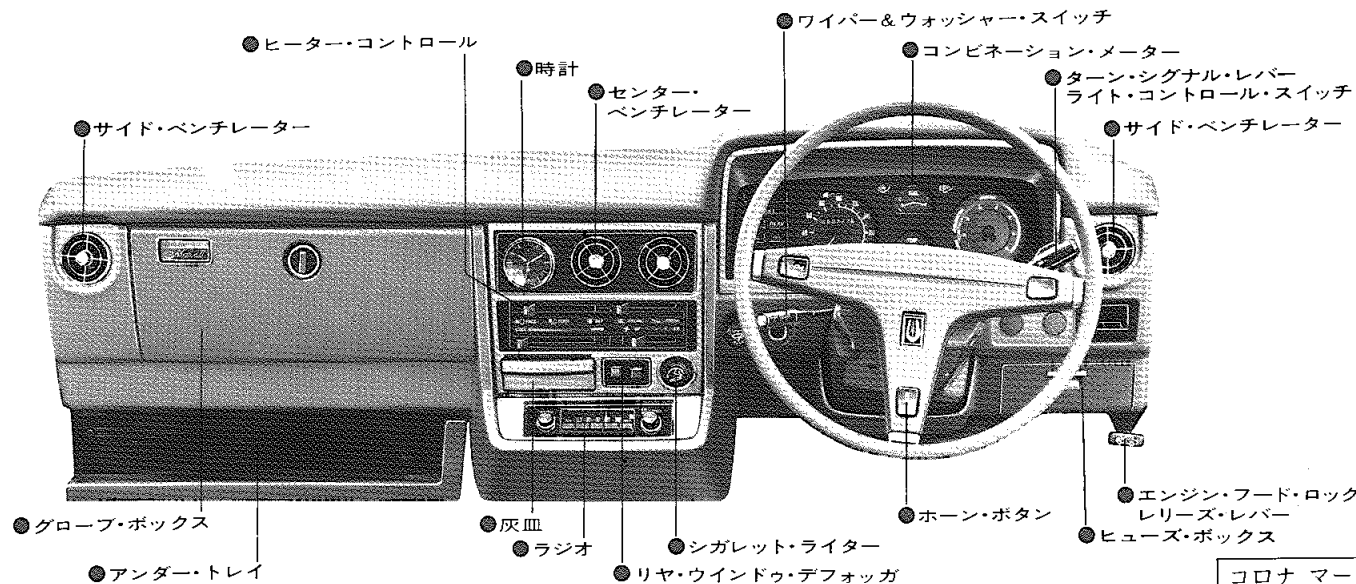
トヨベツト コロナ マークII バンの装備について説明します。

一部の車両にしかついていない装備品については、その項目に✳マークをつけ、全車両の標準装備でないことを示しています
お買いあげのトヨタ車の装備については下記の表をご覧ください。

装備品	リクライニング調整	ランバー・サポート	ELR付きフロント・シート・ベルト	リヤ・シート・ベルト	防眩式インナー・リヤ・ビュー・ミラー	リモート・コントロール・ミラー	EDモニター	間欠ワイパー	リヤ・ワイパー	リヤ・ウインドウ・デフォッグ	時計		アンテナ	AMラジオ	AM・FMラジオ	ステレオ	ヒーター	エア・コンディショナー	サン・バイザー(左側)	グローブ・ボックス・ランプ
											電子式	音さ式								
説明ページ	10	12	13	13	13	13	16	18	18	18	19	19	20	20	20	21	22	24	25	25
STD	/	/	/	/	/	/	/	/	△	△	△	/	△	△	/	/	●	△	/	/
DX	●	/	●	△	●	/	/	●	△	△	●	/	●	●	△	△	●	△	●	●
GL	●	●	●	△	●	△	●	●	●	●	/	●	●	●	△	△	●	△	●	●

△…………オプション

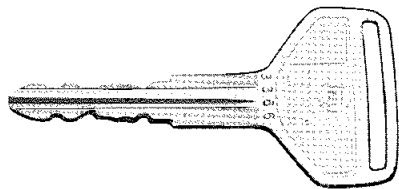
●…………標準装備



コロナ マークII パン GL車

ご乗車の前に——

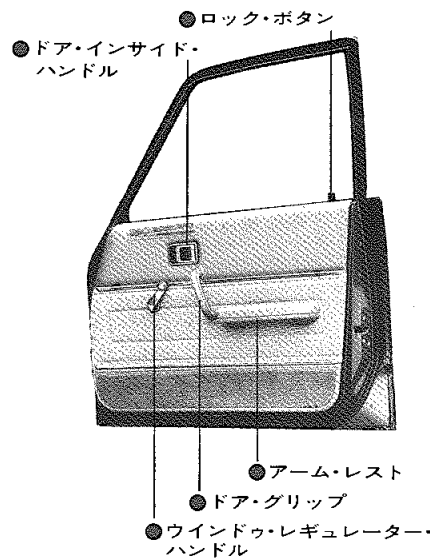
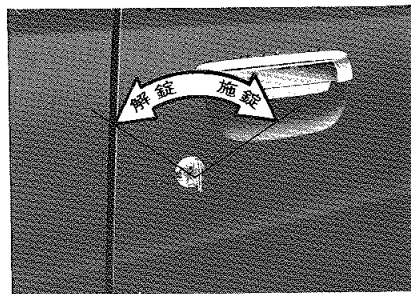
■ キーを確認しましょう。



★ 注意

キー・ナンバーを控えておきましょう。万一、キーを紛失した場合には、キー・ナンバーをトヨタ販売店へご連絡いただければ、専用のカッターにより純正の複製キーを作ることができます。純正以外の複製キーは、お使いにならないでください。

■ ドアについて



ドアをあけるときは(解錠状態で)
車外から……

ドア・アウトサイド・ハンドルの内側のレバーを引き上げます。

車内から……

ドア・インサイド・ハンドルを手前に引きます

★ 注意

必ず後方確認をしましょう。いきなりあけると後続車がぶつかる恐れがあります

ドアを閉じるときは
確実にしめましょう。

★ 注意

半ドアの状態では、運転中ドアが開く恐れがあります。

ドアをロックするときは

車内から……

ドア・ロック・ボタンを押えます。

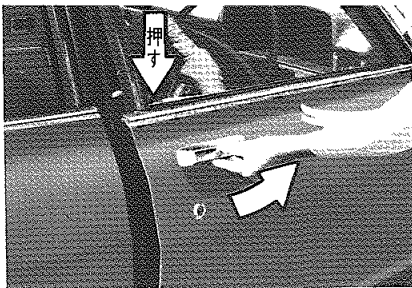
車外から……

〈フロント・ドア〉

キーを使用するとき

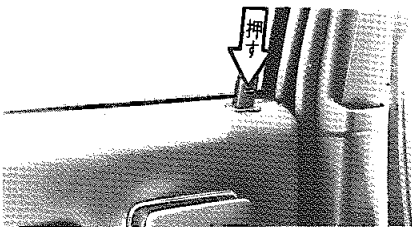
解錠、施錠の方向は前項の写真を参考にしてください。

キーを使用しないとき



ロック・ボタンを押えドア・アウトサイド・ハンドルの内側を引き上げたままドアをしめます。

〈リヤ・ドア〉



ロック・ボタンを押え、そのままドアをしめます。外からの解錠はできません。

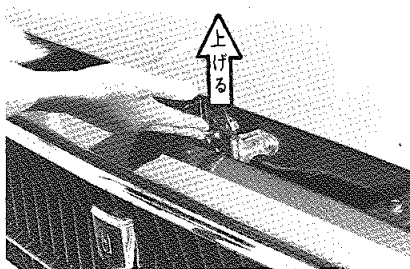
★注意

キーを車内に置き忘れないようにしましょう。

■エンジン・フードをあけるには



1. エンジン・フードをあけるには、計器盤右下のレバーを引きます。ロックがはずれ、セーフティ・ラッチがかかった状態になります。

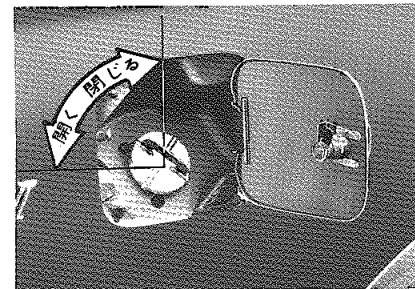
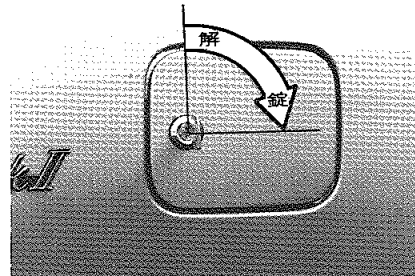


2. エンジン・フードのすき間に手を入れ、セーフティ・ラッチをはずしエンジン・フードをいっぱいあけます。
3. 閉じるときは、フードを下げて前端を押えつければロックします。

★注意

フードが半ロックの状態では走行しないでください。

■ガソリンを補給するには

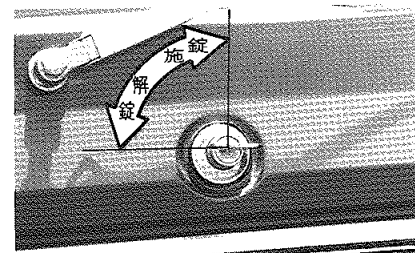


ふたをあけるにはキーを右に回したまま手前に引きます。

キャップは左に回すと開き、右に回すと閉じます。ふたを閉じるときは上から押えてください。

必ず無鉛レギュラー・ガソリンを補給してください。

■バック・ドア

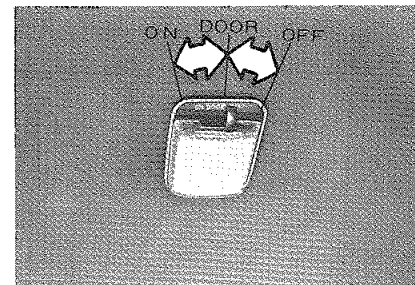


施錠の位置でキーを差し込み、左へ回しプッシュ・ボタンを押して、バック・ドアを持ち上げて開きます。

バック・ドアを開くと、バック・ドア・ランプがつきます。

閉じるときは、バック・ドアをそのまま下までおろし、上から手で押えつめます。そのままの位置でキーを差し込み、右へ回すと施錠できます。

■ルーム・ランプとドアの関係は



ルーム・ランプ・スイッチは3段になっています。

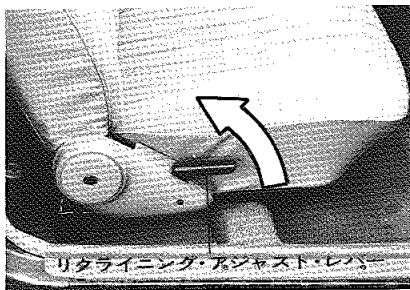
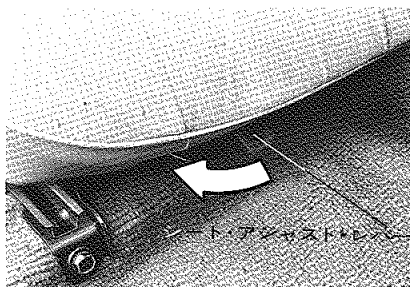
ON……………ドアの開閉に関係なく点灯

DOOR ……ドアの開いたときのみ点灯

OFF……………ドアの開閉に関係なく消灯

シートについて

■フロント・シートの位置を調整しましょう。



シートの位置調整は、正しいドライビング・ポジションで運転するために必要なことです。

ペダルを十分に踏むことができ、ゆとりのある位置に調整しましょう。

前後位置調整

シート下のレバーを外側に押ししている間、前後に移動できます。

調整後は、シートがロックされたことを確認しましょう。

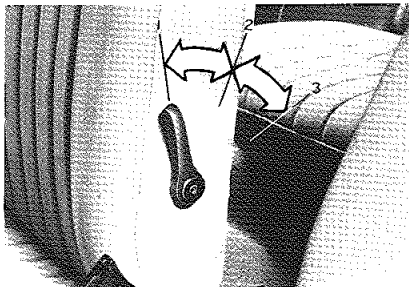
リクライニング調整 *

シート横のレバーを引き上げると、シート・バックの角度が調整できます。

★注意

シートの位置調整は、車を運転する前に行なってください。車が動いているときの調整は運転姿勢がくずれ危険です。

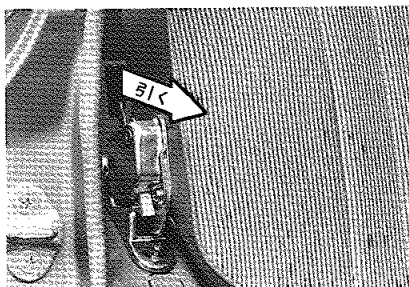
■ランバー・サポート *



レバーを動かすことにより、背もたれの固さを3段に変えることができます。お好みに応じてお使いください。

■リヤ・シート

コラム・シフト車

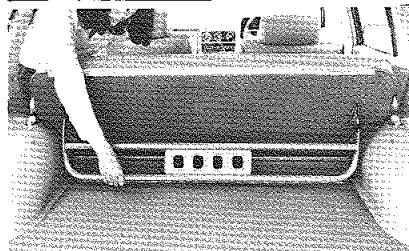


シート・バックは前に倒すことができます。リヤ・ロック・レバーを前にいっぱい引き、シート・バックを前に倒します。

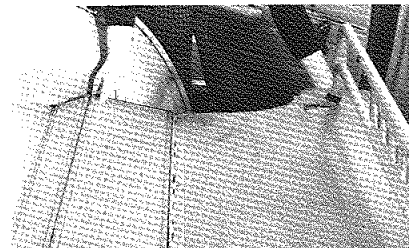


シート・バックを起こすときは、中央のパネルを持ち上げて起こします。シート・バックを後に押えつけると自動的に固定されます。

フロア・シフト車



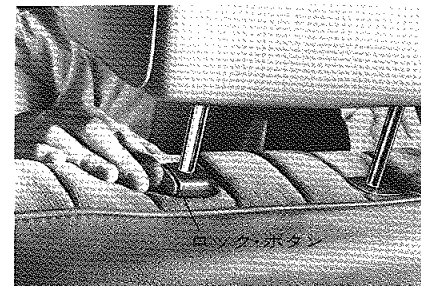
リヤ・シート・バックを倒すときは、シート・バックの裏のハンドルを引き上げてから前に倒します。中央部のパネルを押えつて固定し、次にハンドルをいっぱい起こしてください。



シート・バックを起こすときは、まず中央部のパネルを持ち上げて起こしてからシート・バックを起こします。

シート・バックをいっぱい起こしてから、ハンドルを倒し、シート・バックを押えつけて固定します。

■ヘッド・レストを正しい位置に



ヘッド・レストを引き上げ、頭の後方の位置になるように調整します。下げるときは、ロック・ボタンを押しながら下げます。

■シート・ベルトを忘れずに

運転するときは、必ずシート・ベルトをしましょう。

フロント・シート・ベルトの装着方法
ELR(緊急時オート・ロック・リトラクタ)
付きシート・ベルト *

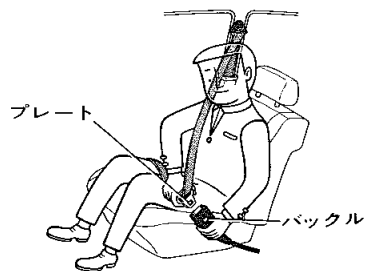
除くSTD

通常は伸び縮みが自由ですが緊急時には、自動的にロックされます。

ベルトの長さは調節する必要はありません。

1. シートを調整し、正しい姿勢ですわります。

2. 巻き取り装置からベルトをゆっくり引き出し、ねじれていないことを確認してプレートをバックルにはめます。腰部のベルトは腰骨の位置に装着しましょう。



連続ウェビング・タイプ・シート・ベルト

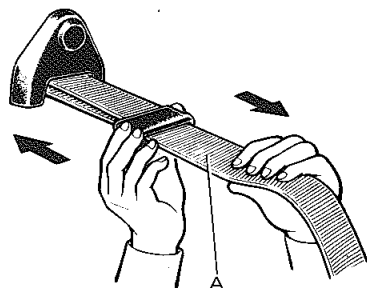
STD車

1. シートを調節し、正しい姿勢ですわります。
2. 巻き取り装置からベルトをいっぱい引き出し、ねじれていないことを確認してプレートをバックルにはめます。プレートがバックルにはまらないときは、ベルトが長くなるように調整します。
3. 巻き取り装置からベルトをいっばいに引き出した状態で、腰部のベルトが腰骨にぴったりするまで、肩ベルトを引き上げます。
4. 胸とベルト間に、にぎりこぶしがあるくらい余裕があるように肩ベルト部を調整します。

5. ベルトの調整

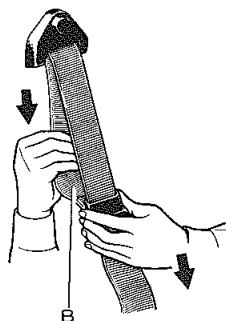
＜長くする場合＞

A部のベルトを水平方向に引っ張り長くします。

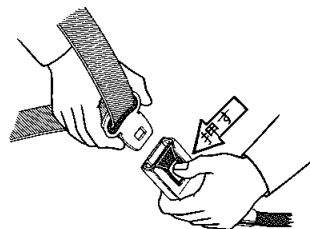


＜短くする場合＞

B部のベルトを引きさげベルトを短くします。



取りはずし



バックルの中央のボタンを押してベルトをはずします。

プレート側のベルトは自動巻き取り式ですので、自動的に格納されます。

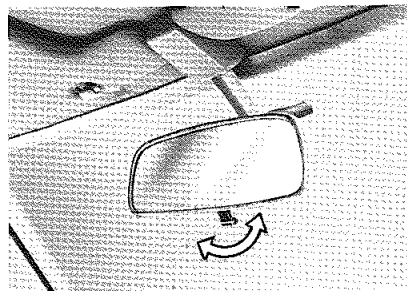
リヤ・シート・ベルトの装着方法 ※
プレート側のベルトをいっばい引き伸ばしバックルにはめ長さを調整します。

★注意

1. 腰ベルトは、腰骨の位置にしっかり装着してください。
2. 1本のベルトを2人で使用することはやめてください。
3. ベルトのよごれを落すには、中性洗剤でブラッシングして布でふきとってください。

■ミラーの調整をしましょう。
インナー・リヤ・ビュー・ミラー
アウター・リヤ・ビュー・ミラー
後方視野が十分に確認できる位置に調整しましょう。

防眩式インナー・リヤ・ビュー・ミラー



夜間走行の場合、後続車のライトがインナー・ミラーに写り、まぶしいときに使

用します。

ミラーの下にあるレバーを手前に引くと後続車のライトの反射が弱くなり、後続車が確認しやすくなります。防眩が必要なくなったときは、レバーを押してもとの位置にします。

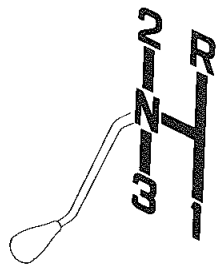
■リモート・コントロール・ミラー



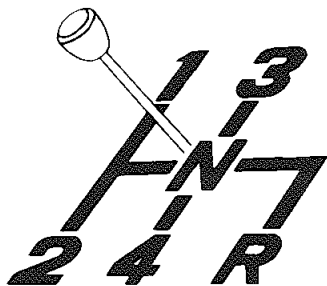
上下左右のノブの動きは、アウター・リヤ・ビュー・ミラーと連動になっていますので、後方視野が十分確認できる位置に調整しましょう。

シフト・レバーについて

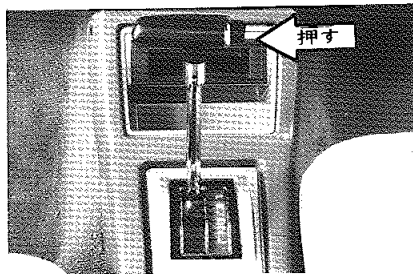
■マニュアル・トランスミッション 3速コラム・シフト



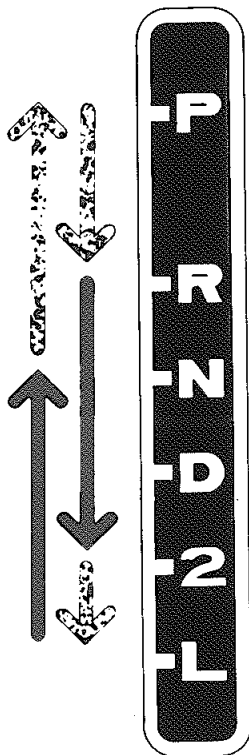
4速フロア・シフト



■オートマチック・トランスミッション <各レンジの入れ方>



- ➡ そのまま動かします。
- ⬇️ コントロール・レバー・ボタンを押して動かします。



- Ⓟ パーキング・レンジ……駐車およびエンジンを始動する位置
- Ⓡ リバース・レンジ……車をバックさせるときの位置
- Ⓝ ニュートラル・レンジ……中立位置
エンジンを始動することができませんがⓅレンジで始動したほうが安全です。
- Ⓧ ドライブ・レンジ……通常の走行をする位置
- ② セカンド・レンジ……エンジン・ブレーキが必要などときに使う位置
- ① ロー・レンジ……強いエンジン・ブレーキが必要などときに使う位置

★注意

ロー・レンジでは50km/h以上で使用しないでください。

<運転のしかた>

- 通常は①で発進するとロー・ギヤからスピードによりセカンド・ギヤにと自動的に替わります。
- マニュアル・トランスミッション車と同様に、①から発進し、②から①へと手動の操作でも運転できます。
- 急坂路を下るときは、スピードに応じて①または②に入れて、エンジン・ブレーキをかけます。
- 追い越しなど、急加速をしたいときは、アクセル・ペダルをいっぱい踏み込むと、レバーは①でも、ギヤはトップからスピードによりセカンドまたは、ロー・ギヤに切り替わって急加速ができます。
(キック・ダウン操作)

★注意

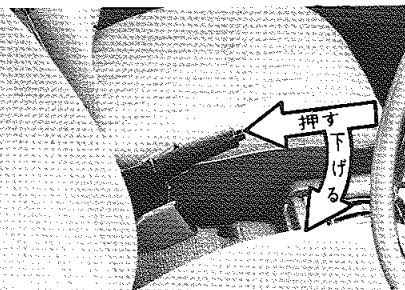
1. エンジンを始動するときは、必ずパーキング・ブレーキ・レバーを引き、Ⓟにしてください。
2. ⓅとⓇへは、必ず車が完全に止まってから、入れてください。
3. 停車中Ⓟ以外ではエンジンを高回転にしないでください。
4. アクセル・ペダルを踏み込んだまま、Ⓝから①またはⓇへ切り替えることは危険です。必ずアクセル・ペダルから足を離して①またはⓇへ切り替えてください。
また停車中シフトするときは、パーキング・ブレーキ・レバーを引くかブレーキ・ペダルを踏んで行なって

ください。

5. 駐車時は必ず、パーキング・ブレーキをかけシフト・レバーを⑩にしてください。

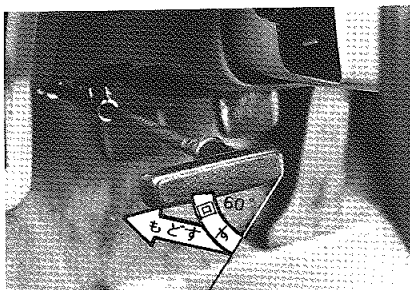
パーキング・ブレーキ・レバーについて

フロア・シフト車



駐車時、いっぱい引いて使します。もどすときは、レバーを軽く引き上げながら、レバー先端のノブを押してもどします。

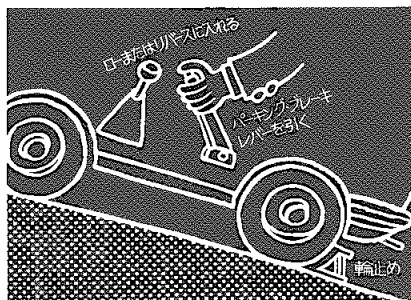
コラム・シフト車



駐車時、いっぱい引いて使します。もどすときはレバーを軽く引きながら、下に約60°回してもどします。

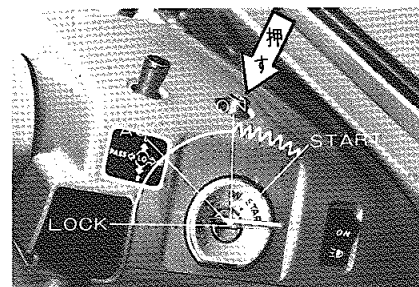
坂道での駐車は……

パーキング・ブレーキを引いた上、ギヤをローまたはリバース(オートマチック車はパーキング・レンジ)に入れ、さらに上り坂では後輪に、下り坂では前輪に輪止めをします。



エンジン始動について

エンジン・スイッチ



LOCK ……キーを抜き差しできる位置。キーを抜くとハンドルがロックされ盗難防止に役立ちます。

ACC ……エンジンを止めたまま、ラジオおよびカー・ステレオの聞ける位置。

ON ……エンジン運転中の位置。

START ……エンジンを始動する位置。手を離せば自動的にONにもどります。

ロック

キーをACCからLOCKの位置にするときは、プッシュ・ボタンを押えて回します。

アン・ロック

キーがLOCKからACCに回らないときは、ハンドルを軽く左右に回しながら、エンジン・キーをACCの方向に回すとはずれます。

★注意

1. エンジン停止時、スイッチはLOCKまたはACCの位置にしておきましょう。
長時間停止するときはLOCKの位置にしてください。
ONの位置で放置するとバッテリー上がりの原因になります。
2. エンジンがかからないとき、無理にそのままSTARTの位置で長時間回さないでください。
バッテリーが上がります。
3. エンジンを止めてラジオまたはカー・ステレオを長時間つけておくとバッテリー上がりの原因になります。
4. エンジンがかかっているとき、キーをSTARTの位置に回さないようにしましょう。スターターが無理にかみあい破損します。

■エンジンを始動するには

1. エンジンを始動する前にアクセル・ペダルを次のように踏み込みます。

外気温	踏む回数
+5℃以上	軽く1回
+5℃～-10℃	いっぱい1～2回
-10℃以下	いっぱい2～3回

2. アクセル・ペダルから足を離しエンジンを始動します。
3. しばらく暖機をします。
オートマチック・チョークが働いている間はアイドリング回転数は通常より高くなっているのでアクセル・ペダルを踏んでいる必要はありません。
4. 暖機運転のときエンジンを高回転のまま10分間以上放置しないでください。
水温が上がったら必ず一度アクセル・ペダルを踏み込んでエンジン回転数を下げてください。

スイッチ、メーターについて

■スピードメーター〈速度計〉

指針は車の走っている速度を示し、約100km/h以上になると、チャイムが鳴り警告します。チャイムが鳴っているとき、指針が振れることがありますが、異常ではありません。

■オドメーター〈総積算距離計〉

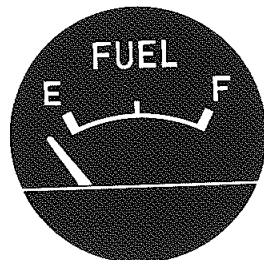
走行した総距離をkmの単位で表わします。白字に黒文字は、100mの単位です。

■トリップ・メーター〈積算距離計〉

オドメーターと共に走行した距離を表示します。ある区間または期間に走行する距離を知りたいとき0にもどして使用します。0にもどすときは、トリップ・メーター・ノブを押せば0にもどります。

■フューエル・ゲージ〈燃料計〉

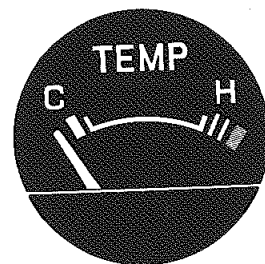
エンジン・スイッチがONのときにフューエル・タンク内の燃料の量を示します。エンジン・スイッチがON以外では、指針はEより下の位置にあります。



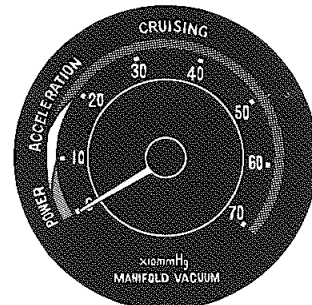
■ヒート・ゲージ〈水温計〉

エンジン・スイッチがONのとき、冷却水温を示します。水温が低いときおよびスイッチがON以外ではCより下の位置にあります。

指針がレッド・ゾーンを示すときは、冷却水の有無、漏れおよび、ファン・ベルトのゆるみなどについて点検してください。



■EDモニター



EDモニターの表示はエンジン負圧を表わします。経済走行の指針としてご利用ください。

POWER (橙色)

急加速時(エンジン負荷の大きいとき)の範囲。

この場合は燃料消費量の最も多いときです。

ACCELERATION (黄色)

発進時および定常走行中、一時的に加速するときの範囲。

この場合、燃料消費量はPOWER時より少ないときです。

CRUISING (緑色)

定常走行中の範囲。

この場合、燃料消費は経済的です。

定常走行では、指示が大きい状態で運転すれば、燃料消費を少なくできます。

シフト・ポジションが低いときは、指示が大きくなることがあります。必ずしも経済的ではありません。

走行可能な限り高いシフト・ポジションを使用してください。

★注意

1. ゾーン内周は低速走行時、ゾーンの外周は高速走行時の目安としてください。
2. エンジン・ブレーキ時には指示が、アイドリング時より大きく示します。

■チャージ・ウォーニング・ランプ

〈充電警告灯〉

エンジン回転中、充電系統が異常のときに点灯し(赤色)警告します。

ただし、エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

■ターン・シグナル・インジケーター・ランプ

〈方向指示器指示灯〉

右折または左折のとき、それぞれのターン・シグナル・インジケーター・ランプが点滅(緑色)します。

■オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ

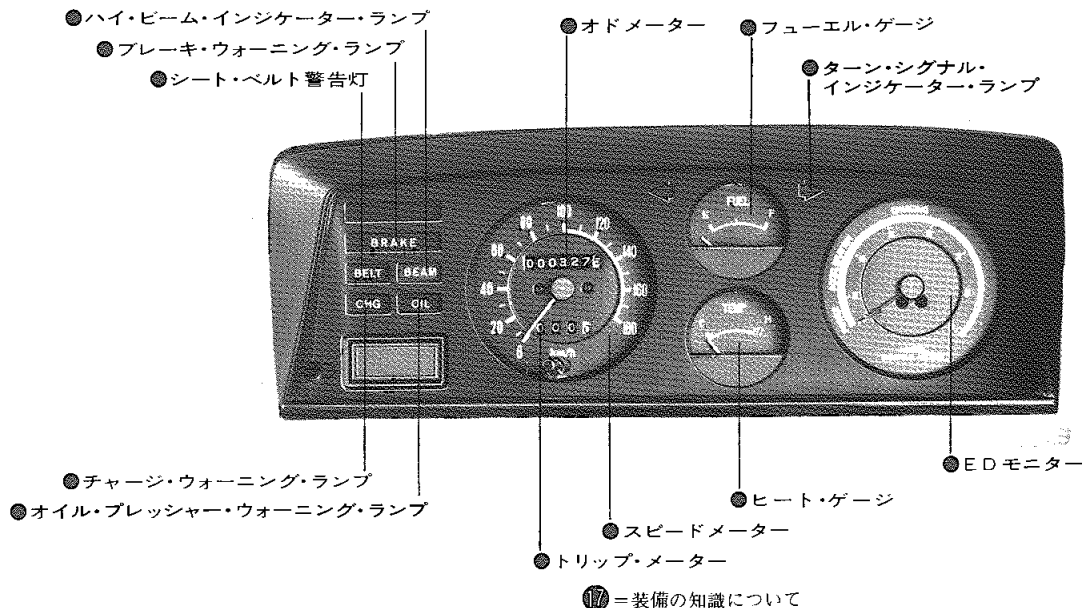
〈油圧警告灯〉

エンジン回転中、潤滑系統が異常のときに点灯(赤色)し警告します。

エンジン停止中にエンジン・スイッチをONにすると点灯(赤色)し、始動すると消灯します。点灯したままのときは、オイル量を調べてください。

■シート・ベルト警告灯

パーキング・ブレーキ・レバーを引いた状態で、エンジン・スイッチをONにすると点灯(赤色)し、シート・ベルトを装着すると消えます。



4 眼メーター GL車

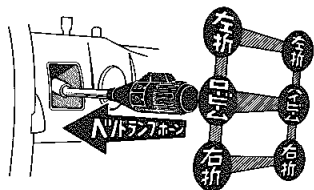
■ブレーキ・ウォーニング・ランプ

1. エンジン・スイッチがONのとき、パーキング・ブレーキ・レバーを引くと点灯(赤色)し、レバーをもどすと消えます。
2. レバーをもどしても消灯しないとき、または走行中点灯したときは、ブレーキ・フルードが規定レベル以下になっていることを警告します。

■ハイ・ビーム・インジケータ・ランプ

ヘッドランプがハイ・ビームのとき、ハイ・ビーム・インジケータ・ランプが点灯(青色)します。

■ターン・シグナル・レバー



ターン・シグナル・スイッチとして……
 左右折のとき上図のように操作します。操作した側のターン・シグナル・ランプが点滅するとともにターン・シグナル・インジケータ・ランプが点滅します。ハンドルをもとにもどすとレバーは自動的にもどります。ハンドル操作が少ないときスイッチが自動的にもどらない場合

があります。このときは手でもどしてください。

■ヘッドランプ・ホーン・スイッチとして……

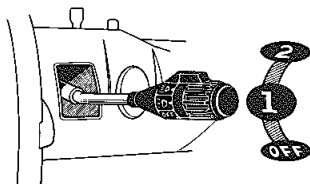
レバーをロー・ビームの位置から手前に引いている間ヘッドランプのハイ・ビームが点灯します。

高速道路で先行車を追い越すときなどの合図として使います。

■ディマー・スイッチとして……

ハイ・ビームとロー・ビームの切り替えをします。夜間先行車や対向車のあるときはロー・ビームにしてください。

■ライト・コントロール・スイッチ



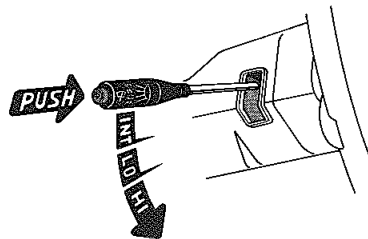
エンジン・スイッチに関係なくランプがつかます。

①および②の位置でそれぞれ次の○印のランプが点灯します。

灯 火 名	①	②
ヘ ッ ド ラ ン プ	○	○
クリアランス・ランプ、テール・ランプ	○	○
ライセンス・プレート・ランプ	○	○
メーター・パイロット・ランプ	○	○

■ワイパー&ウォッシャー・スイッチ

ワイパー・スイッチとして……



- INT ……………雨量の少ないときに使用します。約4～5秒おきにワイパーが作動します。
- LO ……………普通雨量のとき使用します。
- HI ……………雨量の多いときに使用します。

ただし、STD車はLOとHIの2段切り替えです。

★注意

ウインドウ・ガラスがよごれたまま使用するとガラスに傷がつくことがあります。ウインドウ・ガラスがよごれているときは、ウォッシャー液噴射後ワイパー・スイッチを入れてください。

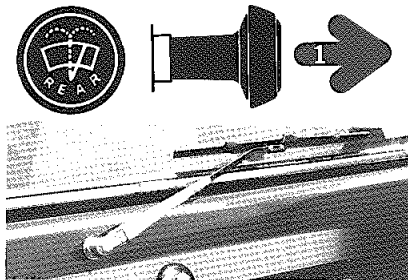
■ウォッシャー・スイッチとして……

スイッチを押すと、ウォッシャー液を噴射します。ウインドウ・ガラスがよごれているときに使用します。

★注意

ウインドウ・ウォッシャー液がカラのときはスイッチを押さないでください。押しすとポンプを痛める恐れがあります。

■ リヤ・ワイパー ※



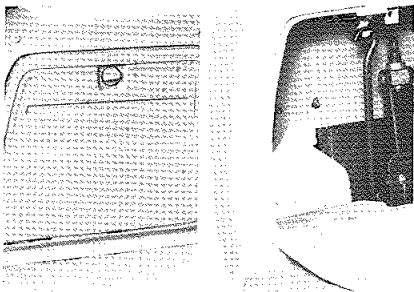
エンジン・スイッチがONでこのスイッチを引くと作動します。

スイッチを切ると、ワイパーは動き始める位置までもどって止まります。

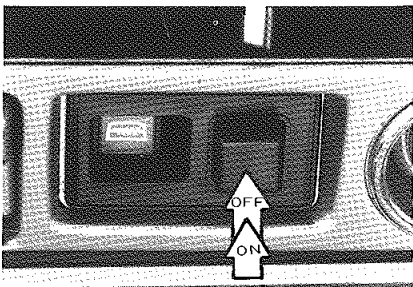
スイッチを右に回すと、ウォッシャー液が噴射されます。

ガラスがよごれているときに使用します。

ウォッシャー・タンクの位置



■ リヤ・ウインドウ・デフォッグ・スイッチ ※



エンジン・スイッチがONのとき作動します。

リヤ・ウインドウが曇ったとき、ガラスの表面を暖めて、曇りをとります。

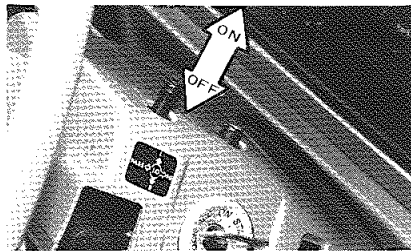
スイッチをONにすると、照明ランプが点灯し、作動していることを示します。

★注意

デフォッグは消費電力が大きいため、リヤ・ウインドウの曇りが消えたらスイッチを切ってください。

スイッチを入れっぱなしにしておくと、バッテリー上がりの原因になりますのでご注意ください。室内の曇りを取るもので、雨水を乾燥させたり、雪をとく能力はありませんので必要以上に使用しないでください。

■ ハザード・ウォーニング・スイッチ



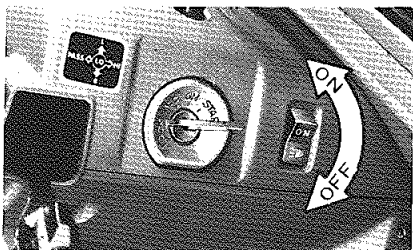
故障して、路上駐車するとき他車の追突防止のため使用します。

スイッチを引くと、前後左右のターン・シグナル・ランプとともに、ターン・シグナル・インジケーター・ランプが点滅し、駐車していることを知らせます。

★注意

ハザード・ウォーニング・スイッチは非常の場合以外は使わないようにしましょう。走行中、トンネル内などで使用すると他車の誤解をまねき危険です。

■ パーキング・スイッチ

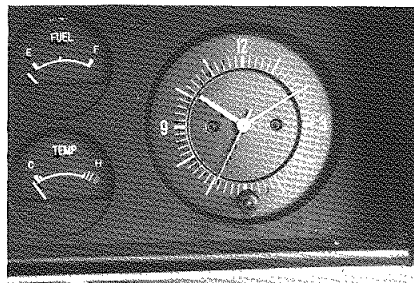


スイッチをONにして夜間路上駐車時使用します。

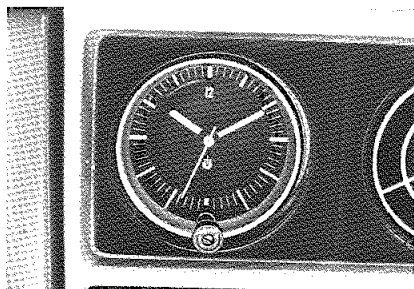
前後左右のパーキング・ランプが点灯します。

■ 時計 ※

電子式



音さ式



時計調整はノブを引いたまま、回してください。音さ式時計は時計が止まった場合ノブをいっぱい引き、そのまま手を離すと秒針が動き始める起動装置がついています。

ラジオ, ステレオー

■ アンテナ ★

アンテナを伸ばすときは手で引き出します。アンテナはいっぱい引き出してお使いください。

■ ラジオ

ラジオは、エンジン・スイッチがONまたはACCのとき聞くことができます。

AMラジオ ★

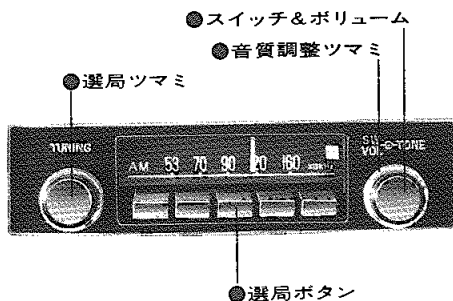
<電源スイッチ>

電源スイッチを押すと電源がはいります。

<選局ボタンのセットのしかた>

1. 選局ボタンの1つをいっぱい引き出します。
2. 手動選局ツマミでダイヤル指針を望みの局に合わせます。
3. 引き出したボタンをいっぱい押し込みます。
4. 他のボタンも同じ要領でそれぞれの局にセットできます。あとはダイヤル指針がどこにあっても、このボタンを押せばセットしておいた局が受信できます。放送局の違う地域へ行ったら選局しなおしてください。

AMラジオ



<音量調整>

音量調整ツマミを左右に回して、適当な音量に調整してください。

ツマミを右に回すと音が大きくなり、左に回すと音が小さくなります。

<音質調整>

音質調整ツマミを左右に回して、好みの音質に調整してください。

ツマミを右に回すと高音が強調され、左に回すと低音が強調されます。

<手動選局>

選局ボタンでセットした局以外の放送局を選ぶときは、左側の手動選局ツマミで選局してください。

AM/FMラジオ ★

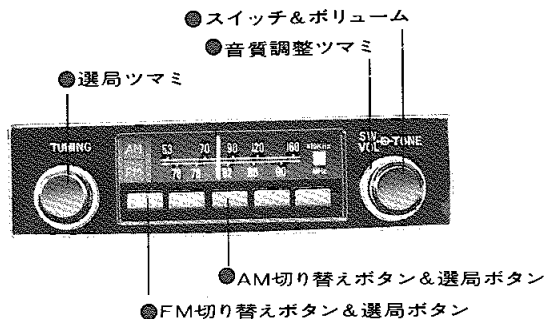
<AM/FM放送の受信のしかた>

5つの選局ボタンのうち、右側3つのボタンを押し込むとAM放送が受信でき、左側2つの“FM”ボタンを押し込むとFM放送が受信できます。

選局ボタンのセットはFM2局、AM3局がセットできます。

他はAMラジオと同じです。

AM/FMラジオ



■AMラジオ付きカセット・ステレオ★

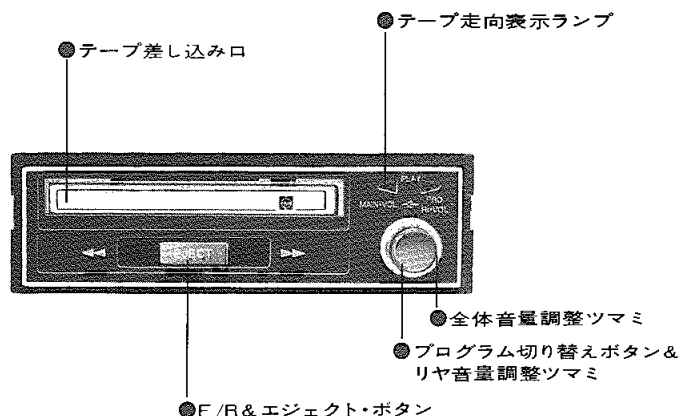
■AM/FMラジオ付きカセット・

ステレオ ★

〈演奏開始〉

カセット・テープを差し込み口にまっすぐ“ロック”されるまで差し込んでください。自動的にテープ走向表示ランプ(PLAY)が点灯し、演奏が始まります。このとき、ラジオの電源スイッチのON、OFFに関係なく自動的に演奏が始まります。

AM/FMラジオ付きカセット・ステレオ



〈音量、音質調整〉

音量調整はラジオの(VOL)ツマミを右いっぱいにします。カセット・ステレオの(Rr・VOL)ツマミを右いっぱいにします。カセット・ステレオの(MAIN・VOL)ツマミで全体の音量を調整します。フロント・スピーカーの音量が大きいときは、ラジオの(VOL)ツマミでリヤ・スピーカーの音量が大きい場合はカセット・ステレオの(Rr・VOL)ツマミを左に回して小さくして前後のスピーカーの音量をお好みの位置にしてください。全体スピーカーの音質は、ラジオの音質(TONE)調整ツマミで調整してください。

〈プログラム切り替え〉

プログラム切り替えボタンを押すと、プレイ・ランプが切り替わり、テープ走行方向の切り替えができ、お好みのプログラムが選べます。

オート・リバーズ

テープ演奏が終ると自動的にプログラムが切り替わります。

〈早送り(FF),巻きもどし(REW)〉

プレイ・ランプの点灯している方向と同じ方向にF/Rエジェクト・ボタンを斜めに押すと早送り、逆方向F/Rエジェクト・ボタンを斜めに押すとテープの巻きもどしができます。

〈早送り(FF),巻きもどし(REW)の解除〉

F/R&エジェクト・ボタンを元にもどすとテープの早送り、巻きもどしを解除することができます。

〈演奏停止〉

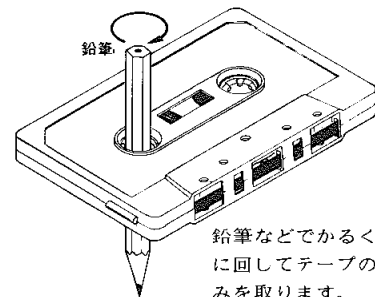
演奏を停止させテープを取り出したいときは、F/R&エジェクト・ボタンを強く押し込んでください。

カセット・テープが差し込み口に押し出され同時にテープ・プレーヤーの電源もOFFになります。

★注意

1. C-120テープおよびクローム・テープは使用しないでください。テープの巻きつきや、ヘッドの摩耗を早めます。
2. テープを演奏状態のままエンジン・キーを切らないでください。回転むらや、テープの巻き込みの原因になります。
3. カセット・テープをそう入するときはテープのたるみを直してください。
4. テープの保存はテープが露出しないようにケースに入れ直射日光を避けて保存してください。

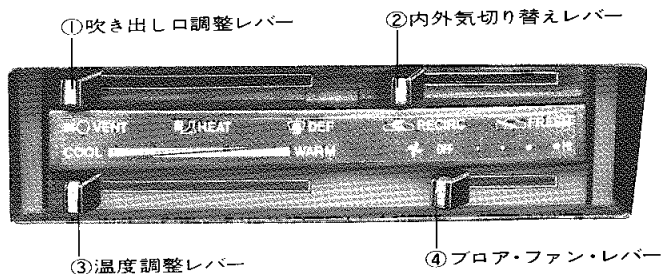
たるんだテープの修正方法



ヒーター, エア・コンディショナー

■ヒーター

このヒーターは、冷風（外気）と温風を混合して、好みの吹き出し温度が得られる、フル・エア・ミックス方式になっており、快適な室温に調整することができます。またサイド・ベンチレーターによってドア・ガラスの曇りをとるサイド・デフロスターとして使用もでき、広範囲な利用方法が得られます。



各レバーは次のように調整することができます。

①吹き出し口切り替えレバー

VENTはセンター・ベンチレーターおよびサイド・ベンチレーターから吹き出します。この吹き出し口は風向きを変えることができます。またサイド・ベンチレーターは、閉じたりすることができます。

HEATはおもに足もとから吹き出し、サイド・ベンチレーターからも吹き出します。

DEFはおもにデフロスターから吹き出し、サイド・ベンチレーターからも吹き出すようになっています。

このレバーは無段階に調整できます。吹き出し口と各吹き出し口の風量の割合をお好きなように調整することができます。

②内外気切り替えレバー

RECIRCは内気循環式、FRESHは外気導入式に切り替わります。

中間位置にも調整できます。RECIRCは急速に車内を暖めるとき、または外気がよごれているときなど、時的に使用してください。

③温度調整レバー

COOLからWARMまで無段階に温度を調整することができます。

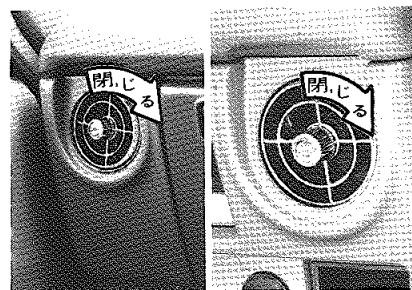
④フロア・ファン・レバー

風量を4段階に調整することができます。

■サイド・ベンチレーター

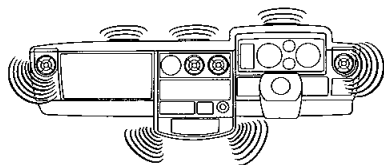
左側

右側

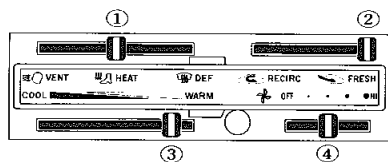


ヒーターを操作することにより快適な空気を送ることができます。風向きはお好みの方向に調節してください。またベンチレーションを閉じるときはノブを右に回します。

室内暖房<頭寒足熱型として>
吹き出し口



各レバーの位置

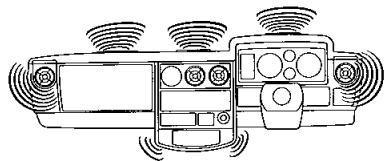


- ①のレバーをHEAT
- ②のレバーをFRESH
- ③のレバーをWARM
- ④のレバーを一段目からHI

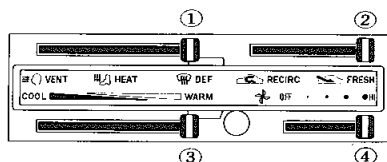
室内換気をよくし、快適な運転を行なうために②のレバーは必ずFRESHの位置にしてください。

温度調整は③のレバーで行ないます。顔が少し熱く感じられた時は③のレバーを左に動かしてください。デフロスター側からの温度が下がり快適な頭寒足熱暖房が行なわれます。お好みの位置に調整してください。

フロント・ガラスおよびドア・ガラスの曇りを取るには
吹き出し口



各レバーの位置

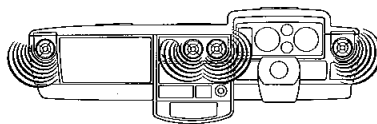


- ①のレバーをDEF
- ②のレバーをFRESH
- ③のレバーをWARM
- ④のレバーを一段目からHI

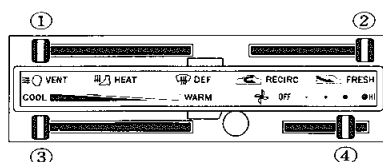
サイド・ベンチレーターをあけドア側に向けてください。ドア・ガラスの曇りも取れます。

①のレバーをDEFとHEATの間にするれば曇りをとると同時に足もとも暖められます。曇りがとれたら①のレバーをHEAT側に動かしてください。

強制ベンチレーション
<強制外気導入による車内の換気>
吹き出し口



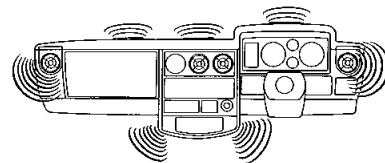
各レバーの位置



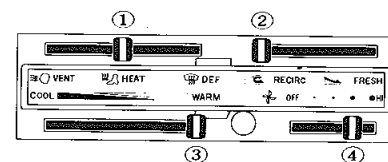
- ①のレバーをVENT
- ②のレバーをFRESH
- ③のレバーをCOOL
- ④のレバーを一段目からHI

外気のさわやかな風が、センター・ベンチレーターおよび、サイド・ベンチレーターを通して吹き出します。

急速に暖房する場合



各レバーの位置



- ①のレバーをHEAT
 - ②のレバーをRECIRC
 - ③のレバーをWARM
 - ④のレバーを一段目からHI
- RECIRCの位置は、急速に暖房したい場合または、外気がよごれている場合に一時的に使用してください。通常はFRESHの位置でご使用ください。

★注意

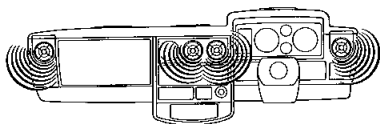
この状態のとき①のレバーをDEFにしないでください。ガラスが曇り危険です。

■エア・コンディショナー ◆

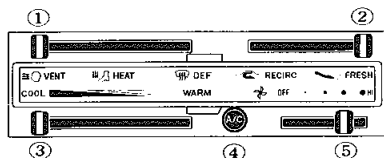
標準型ヒーターにクーラーを組み付け、暖房、冷房はもちろん湿気も取り去るオール・シーズン・タイプです。暖房の操作は標準型ヒーターの項を参照ください。暖房時にA/Cを押すことにより除湿暖房ができます。

この項では冷房、除湿操作について説明します。

室内冷房 吹き出し口



各レバーの位置

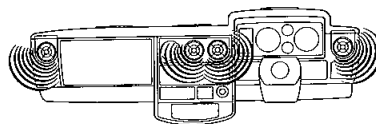


- ①のレバーをVENT
- ②のレバーをFRESH
- ③のレバーをCOOL
- ④のスイッチをON
- ⑤のレバーを一段目からHI

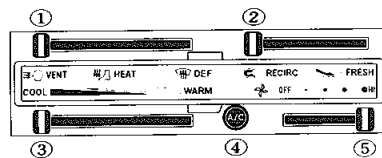
室内の換気をよくし湿気を取り快適な冷房ができます。通常走行中はこの位置でご使用ください。

温度調節は③のレバーで、COOLからWARMの間で快適な位置に調節してください。

室内を早く冷やすには 吹き出し口



各レバーの位置

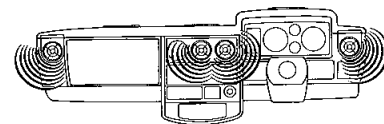


- ①のレバーをVENT
- ②のレバーをRECIRC
- ③のレバーをCOOL (左側いっぱい)
- ④のスイッチをON
- ⑤のレバーをHI

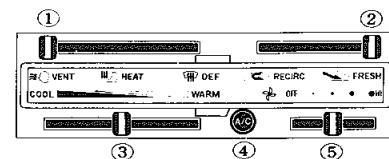
直射日光にさらされ室内温度が非常に高いとき、急速に温度を下げるには、まず全ドア・ガラスを下げ換気した後、冷房してください。

なお、この位置で長時間の使用はしないでください。通常走行中は②のレバーはFRESHにしてください。

除湿するには 吹き出し口



各レバーの位置

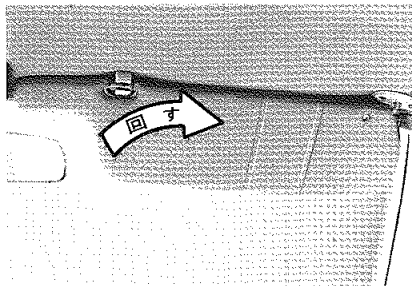


- ①のレバーをVENT
- ②のレバーをFRESH
- ③のレバーをCOOLからWARM
- ④のスイッチをON
- ⑤のレバーを一、二段目

梅雨時など曇りやすいとき室内の湿気を取り除き、さわやかな運転ができます。

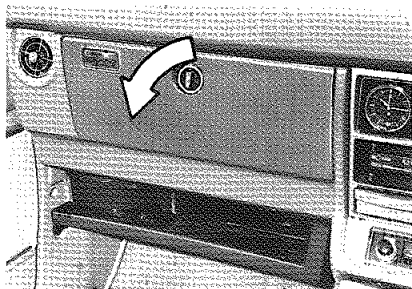
その他

■サン・バイザー *



ホルダーからはずすと、横に回すことができます。

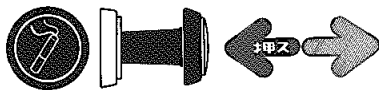
■グローブ・ボックス *



つまみを左に回すと開きます。

DX車以上ではライト・コントロール・スイッチがONのときに、ふたを開くとボックス内右横のランプがつきます。

■シガレット・ライター

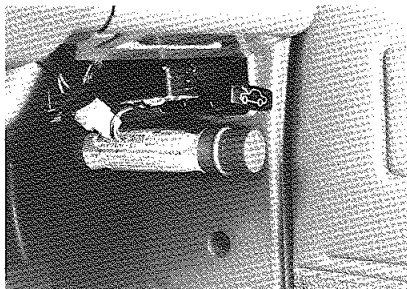


シガレット・ライターは押しこんだらすぐ手を離してとび出すのを待ちます。

★注意

押えつけたまましていると、シガレット・ライターをいためます。

■保安炎筒



踏み切り内で、故障など非常事態が発生したときに使用します。

使用法は保安炎筒をよく読んで万が一に備えてください。

保安炎筒には有効期限があります。有効期間は3年で、有効期限はラベルに明示されていますので確認しておきましょう。発炎時間は約5分間です。

★注意

非常信号用としてのみご使用ください。使用中、筒の先を顔や体に向けたり、近づけたりすると火傷の危険があります。取り扱いには十分注意してください。また、トンネル内で使用すると視界が悪くなり危険ですので絶対使用しないでください。